

もり
森林と大地と人が輝くまち

しもかわ

議会だより

第179号

平成30年2月



年頭のご挨拶

下川町議会議長 木下 一己

新年あけましておめでとうございます。
季節の大きな巡りは同じでも、ひと際寒さを厳しく感じる新春に、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は酉年「酉年は騒々しい」と予言が当たったとは思いませんが、下川町にとって森林バイオマスの熱電事業計画では、いろいろ議論が沸騰した一年でありました。

議会の議決の仕方やメディア報道等で一喜一憂するのではなく、我が町がこれまで取り組んできた地域としての歩みをしっかりと見詰め直して、百年の使用に耐えるという設備を敷設するのなら、それに見合う腰を据えた議論や地域の合意形成がやりたいと考えるところです。

国内外では、特に北朝鮮問題やドイツ・スペインの独立運動など、混沌とする兆しが続きます。国内にあっても、過密すぎるシステムに老朽化対応や保守管理が追いつかず、後から後からと足し算的に施行した設備と、何にでも早さを求める風潮には限界を感じるところです。更に製品づくり日本の最も基本となってきた良い製品、確かな信用を揺るがすことが次々と発覚、お客様に目を向けていない所作が、結果として自らの会社にも償いきれない信用失墜を被ることになるなど、社会のほころびを見る思いであります。

我が町も環境未来都市として循環型地域社会をどう構築して行くのか町民の皆さんの激励叱咤をいただきながら地域の展望を高めて行きたいものです。

今年が幸多い年でありませう心から祈念いたし年頭のご挨拶いたします。